

あばばい（伊勢志摩国立公園指定70周年実行委員会学生部会）

実施主体：伊勢志摩国立公園指定70周年実行委員会



あばばいは、伊勢志摩国立公園指定70周年を機に記念事業を展開するために、環境省をはじめ、関連4市町と民間有識者から成り立つ実行委員会が行う記念事業の参加や、自由企画を行うなどして、伊勢志摩国立公園の意義を見つめなおす場を設けて、今後の伊勢志摩の発展の担い手を育成する目的で活動を行った。

昨年度の活動は、1月から5月まで自由企画として、風の島加工場、JA鳥羽志摩三ヶ所支所のおおさ養殖、友栄水産へのインタビューを行い、あばばいメンバーが国立公園圏内について関わる機会を作りだした。そして、学生達を感じたことを発表する場を設け、フェイスブックを通じて情報発信を行った。

6月からは集大成として、昨年度の11月20日から22日まで行われた伊勢志摩国立公園指定70周年記念式典と全国エコツーリズム大会in伊勢志摩に向けて準備を行った。初日の記念式典当日においては、スタッフとして運営を任せ、各事業者との連携を密にしながら記念式典の開催に奮闘した。2日目のエコツーリズム大会では、各12コースある伊勢志摩満喫ツアーを2人1組で評価員の補佐を行い、3日目に行われた評価会の資料や原稿の作成を行った。そして大会の最後では、伊勢志摩の自然と人々の共存を願い、学生部会あばばいによる大会宣言を行った。

今年度のあばばいの活動を通じて私たちは、伊勢志摩に縁がある若者であるということを再認識する事が出来た。そして、自由企画でのインタビューやエコツーリズムを体験する中で、地元住民の方々は、自然や文化に対して多くの人に知ってもらいたいことがわかった。また、豊富な資源や豊かな自然がある伊勢志摩のこれからを考えると、伊勢志摩に縁がある私たちが次世代の担い手として、若年層に伝えていく活動を継続的に行わなければならないと強く感じた。

(指導教員:新田 均)